

		工法の名称	工 法 の 特 徴
塗装工法	1	アクリル樹脂系塗装	ごく一般的な塗料。最も安価だが、耐久性の面で劣る。最近ではアクリルゴム系の弾性に優れた塗料も開発されているが、従来品は艶引けが早く、一般的な寿命は5年程度と言われている。比較的短期の延命対策に有利でアクリルリシンでの実績は多い。
	2	発泡ウレタン塗装	ドイツでスレートの石綿飛散対策として開発された工法。発泡ウレタンを25ミリ程度の厚さで吹付けるので、スレート屋根の強化と断熱が実現でき、下地処理も簡素で済み長所が多いが、将来の解体性や廃棄物処理の面に課題を残す。
	3	フッ素樹脂系塗装	可視光線領域で反射率50%以上を発揮し、他所定の要件をクリアする。太陽光反射に特化しているため、他の性能では未知数の項目も多い。
	4	セメントテックス塗装	建築物・構造物の補強・補修材として開発されたセメント系の塗り剤。各種のポリマーと硬化剤を加えてコテ塗りや吹付け工法で施工される。下地に水分が存在しても施工が可能で防水・断熱・強化等の効果を発揮する。
	5	アクリルコーティング塗装	外国で開発された高耐久性・高弾性のアクリルコーティング塗料。セラミック塗料の劣化原因No1の紫外線に対して強い。低温域でも高い伸縮性を維持すると共に、近赤外線領域の反射率が高いので遮熱製も良い。
	6	ケミカルカチオンパック塗装	下地が持つ(－イオン)へ接着力を増すために(＋イオン)カチオン性を有するアクリル樹脂混和液とセメントパウダーで構成される接着力が強い強化用塗料。元来はセメントスレートの飛散防止対策で開発されたが、台風襲来時にも強化性立証した。遮熱性能も有す。
二重葺き工法	1	スレート屋根にスレートの重ね葺き	老朽スレート屋根の漏水対策で全面葺き替えが困難な場合に行う。屋根重量が大幅に増加するため(25kg/㎡超)耐震上の確認を要する。建築基準法における主要構造部の過半におよぶ改造に該当する恐れが高く、県市区確認申請の提出が必要となる可能性が高い。
	2	スレート屋根に金属の重ね葺き	老朽スレート屋根の漏水対策で全面葺き替えが困難な場合に行う。台風による飛来物に対する耐性は高いが、塗料に比して重量が増える(10kg/㎡以下)。中間層に保温材を設置すれば、断熱対策も可能となる。